

文化通信

速報

発行所・(株)文化通信社 / 編集・発行人・渡邊裕二

令和6年8月22日(木)第18283号

☆きょうのニュース

原作のパワーデータをチェック、企画の参考に

CCC子会社のカタリスト社、営業先を拡大へ
CANTEERA、映画・テレビ業界の需要見込む

▽総売上金額440億5200万円で前年同期比77%
販売用403億円、レンタル店用30億円で大幅な減

JVA、24年上半年ビデオソフト売上統計調査結果
▽『エイリアン』、『ビートルジュース』続く
洋画実写作品のシリーズもの、続編が9月も

▽吉永小百合主演×阪本監督、田部井淳子の生涯描く
キノF『てっぺんの向こうに』2025年秋公開

▽上映会は『パウ・パトロール』シリーズが1、3位
MMC、7月度「業務用映像コンテンツ」出荷順位

▽北海道先行1万人動員、おしゃべりな写真館10月公開
▽ラピュタ阿佐ヶ谷、木暮実千代特集9月1日から

▽松竹『正体』、松重豊ら追加キャスト13名を発表
▽LVJ、雪組彩風咲奈退団公演10月12・13日中継

▽角川アニメ『オーバー』、完成披露と新情報続々
▽109新宿「ABEMAアニメ祭」参画、多数上映

▽LVJ、奥田民生30周年ライブ10月26・27日中継
▽WB『ブルーピリオド』イベで新田真劍佑の出演明らかに

▽パルコ『モンキーマン』イベにケンコバ、しずちゃん
▽東宝『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』伊原六花の出演発表

▽『エターナルメモリー』堀潤氏登壇の試写会が大盛況
▽東京コミコン、S・スタんとJ・モモアの参加が決定

▽PFFアワード2024、オンライン試写で募集
▽ENBU『とりつくしま』蓮舫氏らが絶賛コメント

▽テアトル日活『クラウド』9月10日にジャパンプレ
▽短編映画『息子と呼ぶ日まで』ロサで11月1日から

▽国立映画、没後50年で田坂具隆監督の展示&上映
▽川村元気氏の3年ぶり長篇小説「私の馬」9月発売

▽テレ朝映像の『ありきたり』に内田慈、奥野瑛太ら
▽「パチンコ」シーズン2のスー・ヒューEPが講座



(株)文化通信社 URL:<https://www.bunkatsushin.com/>

■住所: 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1有楽町電気ビル南館18階

■メール: info@bunkatsushin.com ■電話: 03-3214-6041 ■ファックス: 03-3214-5466

☆きょうのニュース

◎原作のパワーデータをチェック、企画の参考に

CCC子会社のカタリスト社、営業先を拡大へ

CANTERA、映画・テレビ業界の需要見込む

カルチュア・コンビニエンス・クラブ（CCC）の子会社で、書店POSデータを取り扱っている株式会社Catalyst・Data・Partners（カタリスト・データ・パートナーズ）は、これまで主に出版社向けに提供していたデータサービス「CANTERA（カンテラ）」を、今後映画・テレビ業界にも営業していく考えだ。

同社は2018年4月設立。当初はCCCの完全子会社だったが、現在はKADOKAWA、講談社、学研ホールディングス、集英社、小学館、日販グループホールディングス、富士山マガジンサービス、ポプラ社も主要株主に名を連ねる。出版界の主だった企業が勢ぞろいしている状況からも窺える通り、「カンテラ」は出版物のデータを取り扱っている。

「カンテラ」は、DVDメーカーの営業マンにはお馴染みのTSUTAYAのデータベース「DBWATCH」から「出版物」に関するユーザーデータを独立させ、日販のデータサービス「WIN」と統合（2022年10月）させた新サービスだ。

有効ID数約1・3億人、年間アクティブユーザー数6760万人が利用するVポイント（旧名称・Tポイント）をベースにした「DBWATCH」と、全国の書店3500店の実売数を把握する「WIN」を統合させることで、日本の出版物の売れ行きの詳細を可視化できるようにしたのだ。同社営業の西谷内雅晶氏によると、Vポイントのユーザーの本屋での提示率は85%と非常に高い。ユーザーの年齢層に偏りはなく、20〜60代は各年代とも人口に対し6〜7割が所有（アクティブユーザーは約1割）している。70代でも5割に迫る所有割合だ。また、「WIN」がカバーする書店3500店舗は日本に存在する書店の約4割にあたる。

この膨大なデータを網羅した「カンテラ」は、現在大手・中堅の出版社を中心に約400社が契約している。一方で、昨年頃から映画業界の大手数社も関心を持ち、利用を始めているという。西谷内氏は「原作のパワーデータをチェックし、どの作品を映画化するのか、企画する際の参考にされているようです」と話す。カタリスト社は顧客を出版業界外にも広げようと考えており、特に映像化の元となる原作が欠かせない映画・テレビ業界で大きな需要を見込む。

カンテラがカバーするのは2017年4月以降の販売データ。どの出版物がどれだけ売れたのか、月別・週別はもとより、デイリーでも把握できる。ランキング形式（3000位まで）で表示でき、前日に日本で何の出版物が売れたのかもリアルタイムで把握できる。細かい検索機能も有しており、例えば「10代」「女性」が「2023年8月〜2024年8月」に購

つづく

入した「ボーイズラブ」の「小説」のランキングといった表示設定も可能だ。県別や地域別で表示することもできる。ヒットした出版物は「〇〇万部突破のヒット」といった形で出版社から世に発表されるのが一般的だが、カンテラでは具体的にどの世代が何の本に関心を持っているのか、詳細を瞬時に把握できるのだ。検索できるジャンル数は実に1670におよぶ。

ランキングだけでなく、出版物ごとの購買データもチェックできる。売上冊数、納品数、返品数、在庫数、取り扱い店舗数も一冊単位から表示でき、男女別・年齢別の売上比率、月別・週別・日別で売上の推移も調べることができる。テレビや新聞で紹介、映画公開日・テレビ放送日といったパブリシティ情報も入力されているため、「なぜこの出版物がこの日に急に売上が伸びたのか？」といった顧客の疑問にも応える。さらに併売商品も見られるため、「この原作に興味を持った人は、あの原作にも関心を寄せている」といった情報を得ることも可能だ。

なお、プランごとに利用できるサービスが異なるため、料金は非公表だという。

西谷内氏は『DB WATCH』は映画業界でもご存じの方は多いと思いますが、『カンテラ』はまだほとんど知られていません。すでにご利用頂いている方には『あまり他の会社に営業しないで（笑）』と言われるほど好評で、私どもも、出版業界以外でこれほどポテンシャルがあるとは考えていませんでした。例えば、育児系の雑誌の購入者は料理の雑誌も購入する傾向があるといった併売データもあり、もうどの業界でも活用できるデータベースだと思えます。今後このサービスを広げていくためにも、まずは特に親和性の高い映画・テレビ業界でのご利用を増やしていきたいと思っております」と話す。

◎北海道先行1万人動員『おしゃべりな写真館』10月公開

北海道先行公開で1万人を動員した『おしゃべりな写真館』（配給…シネメディア）が、10月11日（金）から新宿ピカデリーほか順次公開されることが決まった。

同作は今年2月23日にシネマ太陽帯広から先行上映され、連日満席が続く大ヒット。3～5月には北海道で拡大公開され、8館で1万人動員を記録した。8月23日から北海道7会場を巡回する「北海道国際映画祭」では、招待作品として全会場でオープニング上映またはクロージング上映されることも決まった。

山村留学をテーマに、目を患った主人公が偶然出会う少女との交流がきっかけで生きる希望を見出していく物語。出演は中原丈雄、山木雪羽那、賀来千香子、橋爪功など。監督は藤嘉行。2022年7月から2023年5月の約1年にわたり四季折々の十勝・鹿追の風景の中で撮影。藤監督は鹿追に移住し、新聞配達を手伝いながらロケハンを重ね、奇跡のような瞬間を映画の中に収めた。製作・制作プロダクションは和ら美。

了

◎総売上金額440億5200万円で前年同期比77%

販売用403億円、レンタル店用30億円で大幅な減

JVA、24年上半年ビデオソフト売上統計調査結果

日本映像ソフト協会（JVA）は19日、2024年上半年（1～6月）ビデオソフト売上の統計調査結果を発表した。

それによると、当期の総売上金額は440億5200万円の前年同期比77・2%。近年は前年同期比8～9割台の減少トレンドが続き、2023年上半年は久々に増加したが、一転して今年は減少幅が大きかった。

そのうち、「販売用」の売上は403億2100万円の前年同期比77・5%、「レンタル店用」は30億6200万円前年比70・6%と、両チャネルとも前年同期を大きく下回った。「特殊ルート」は3億4600万円（前年同期比254・7%）、「業務用」は3億2300万円（53・6%）だった。

「販売用」のジャンル別売上は、「邦楽」が152億3300万円シェア1位。ただ前年が好調だったこともあり、前年同期比は57・1%と大きく下回った。2位は「日本のアニメ」で124億4600万円。『THE FIRST SLAM DUNK』の売上が貢献したこともあり、前年同期比は103・1%と増加した。この2大ジャンルで売上の7割近くを占めている。以下、3位に「日本のTVドラマ」（30億2600万円、前年同期比73・4%）、4位に「邦画」（26億0400万円、154・6%）、5位に「芸能・趣味・教養」（20億7500万円、89・0%）、6位に「洋画」（20億0400万円、94・7%）がランクイン。邦画の増加は『ゴジラ1.0』などが貢献した。

「レンタル店用」のジャンル別売上は、シェア1位が「日本のアニメ」（8億0700万円、83・1%）、2位が「アジアのTVドラマ」（6億2900万円、53・8%）、3位が「邦画」（5億1900万円、89・4%）、4位が「洋画」（4億3500万円、103・5%）、5位が「日本のTVドラマ」（2億1000万円、34・6%）だった。

ビデオソフト 上半期売上推移(2010年以降)

年	総売上金額	販売用	レンタル店用
2010	1194億円	827億円	361億円
2011	1256億円	865億円	384億円
2012	1218億円	847億円	364億円
2013	1204億円	878億円	319億円
2014	1047億円	746億円	295億円
2015	1020億円	756億円	256億円
2016	1025億円	780億円	230億円
2017	916億円	698億円	203億円
2018	858億円	677億円	175億円
2019	775億円	619億円	149億円
2020	714億円	579億円	129億円
2021	695億円	619億円	69億円
2022	558億円	492億円	60億円
2023	570億円	520億円	43億円
2024	440億円	403億円	30億円

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎『エイリアン』、『ビートルジュース』続く
洋画実写作品のシリーズもの、続編が9月も

一時代を築いた洋画実写作品のシリーズもの、続編の新作公開が9月も相次ぐ。9月6日から公開されるデイズニー配給『エイリアン・ロムルス』と、9月27日から公開されるWB配給『ビートルジュース ビートルジュース』だ。

新作の『エイリアン・ロムルス』は、リドリー・スコット監督の第1作『エイリアン』（79年）のその後を描く。監督には、『ドント・ブリーズ』で卓抜な演出力を見せたフェデ・アルバレスが抜擢。スコット監督は製作を担当する。『ビートルジュース ビートルジュース』は、ティム・バートン監督が手掛けた『ビートルジュース』（88年）の35年後を、同じくバートン監督起用で描く。マイケル・キートン、ウイノナ・ライダーが、1作目に続いて出演。イタリア女優のモニカ・ベルッチが、ビートルジュースの元妻役として初参加する。

実写作品のシリーズもの、続編の新作公開は、今年の洋画の大きな特徴。今年はずでに（公開順）、『アクアマン／失われた王国』『デューン 砂の惑星 PART2』『ゴーストバスターズ フローズン・サマー』『ゴジラ×キング 新たなる帝国』『猿の惑星／キングダム』『マッドマックス…フュリオサ』『バッドボーイズ RIDE OR DIE』『デッドプール&ウルヴァリン』『ツイスターズ』などが公開。昨年の全米映画俳優組合のストライキなどで製作の遅延などもあり、今年に集中した面もあるようだが、作品の彩り、華やかさとしては非常に大きなものがある。興行的には、『デッドプール』が18億6千万円（18日時点）で、現時点での興収トップ。

◎ラピュタ阿佐ヶ谷、木暮実千代特集9月1日から

ラピュタ阿佐ヶ谷は、昭和の銀幕に輝くヒロイン【第109弾】として、木暮実千代特集を次のとおり開催する。午前10時30分からの1回上映。9月8日に、作家の藤沢摩彌子氏のトークショー。

▽9月1〜3日『四人目の淑女』（監督・渋谷実、1948年）▽4〜7日、11〜14日『地獄の顔』（大曾根辰夫、47年）▽8〜10日『雪夫人絵図』（溝口健二、50年）▽15〜17日『海の花火』（木下恵介、51年）▽18〜21日、25〜28日『歸郷』（大庭秀雄、50年）▽22〜24日『丘は花ざかり』（千葉泰樹、52年）▽29〜10月5日『お國と五平』（成瀬巳喜男、52年）▽6〜8日『明治一代女』（伊藤大輔、55年）▽9〜12日、16〜19日『お茶漬の味』（小津安二郎、52年）▽13〜15日『霧の音』（清水宏、56年）▽20、22〜26日『幸福（しあわせ）はあの星の下に』（杉江敏男、56年）

了

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎吉永小百合主演×阪本監督、田部井淳子の生涯描く
キノF『てっぺんの向こうに』2025年秋公開

キノフィルムズ配給『てっぺんの向こうにあなたがいる』の製作が決定した。2025年秋に公開される。

世界最高峰エベレストの女性世界初登頂、76カ国の最高峰・最高地点の登頂を成功させた女性登山家・田部井淳子。エベレスト初登頂から、晩年の闘病、余命宣告を受けながらも亡くなる直前まで山に登り続けた勇壮な生涯を、実話をもとに壮大なスケールで描く。劇場公開する2025年は、田部井のエベレスト初登頂（1975年）から50周年に当たる。

主演は吉永小百合。124本目として出演を決めたのは、初となる女性登山家・多部純子役。映画という高峰へ挑み続けるべく万全の準備、体力づくりを欠かさない吉永の姿は、女性登山家・田部井淳子に重なる。監督は、吉永と『北のカナリアたち』以来13年ぶりの再タッグとなる阪本順治。▽吉永小百合コメント 田部井淳子さんと対談したのは2012年。明るくて、楽しいお話をいっぱい聞かせて下さいました。今、私は、『せかいのおきく』という素晴らしい映画を創った阪本監督のもと、「世界の淳子」役に全力で挑戦します。

▽阪本順治コメント 吉永小百合さんと再び一緒にできることの喜び。しかも、田部井淳子さんの人生を基にした山と家族の物語。求められるのは、宮本武蔵の五輪書よろしく、ガレ場の荒野に一本の真つすぐな道を築くような力技。みんな、頑張ります!!

◎松竹『正体』、松重豊ら追加キャスト13名を発表

松竹配給『正体』（11月29日公開）の追加キャストが発表された。前田公輝、田島亮、遠藤雄弥、宮崎優、森田甘路、西田尚美、山中崇、宇野祥平、駿河太郎、木野花、田中哲司、原日出子、松重豊の13名。

作品は、藤井道人監督による逃亡サスペンス。横浜流星が主演し、メイソノキャストとして吉岡里帆、森本慎太郎、山田杏奈、山田孝之が出演する。

◎L V J、雪組彩風咲奈退団公演10月12・13日中継

ライブ・ビューイング・ジャパンは、宝塚歌劇団雪組が10月12日（土）と13日（日）に東京宝塚劇場で上演するミュージカル『ベルサイユのばら』を全国の映画館に生中継する。雪組トップスター彩風咲奈の退団公演。13日千秋楽がラストステージで、この公演をもって退団する。12日は15時半開演で、料金4700円。13日は13時半開演で5200円（退団者挨拶あり、メモリアルチケットの特典付き）。

了

◎上映会は『パウ・パトロール』シリーズが1、3位
MMC、7月度「業務用映像コンテンツ」出荷順位

市民ホール・公民館での上映、キッズスペース・バスでの放映、図書館への貸し出し用DVDの販売などの「業務用映像コンテンツ」を手掛ける代理店大手、ムービーマネジメントカンパニー（MMC）が、2024年7月度の主要カテゴリー別出荷ランキングを表の通りまとめた。

【キッズ】部門の売上は前年同月比115%。不動産業界は安定して良好な状況が続く。1位は5か月連続で『ミニオンズ フィーバー』が獲得。当月は2位にダブルスコアに近い差をつけた。【バス】部門の売上は前年同月比95%。バスツアーはコロナ禍からシニアが戻っていないことに加え、運転手不足などの問題もあり、市場が回復し切っていない。1位は『ONE PIECE FILM RED』が2か月連続1位を獲得した。【上映会】部門の売上は前年同月比105%。非劇場の許諾のモラトリウム（一時停止）期間に入っている『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』に代わり、『パウ・パトロール』シリーズの人氣が上昇しており、当月は1位、3位にランクインした。【図書館】部門の売上は前年同月比105%。2か月連続で1位に『ウオンカとチョコレート工場のはじまり』、2位に『キングダム／運命の炎』が入った。また、新作の『憧れを超えた侍たち 世界一への記録』が3位にランクインした。

MMC 主要カテゴリー別 出荷ランキング（2024年7月度）

■キッズ

順位	タイトル	メーカー
1	ミニオンズ フィーバー	UIP映画
2	ミッキーマウス クラブハウス／ミッキーのスーパーアドベンチャー	ウォルト・ディズニー・ジャパン
3	パウ・パトロール ザ・ムービー	UIP映画
4	映画 すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ	DMM. COM
5	げんきげんきノンタン／きらきらシャンシャンおほしさま☆	コロムビア・マーケティング

■バス

1	ONE PIECE FILM RED	東映ビデオ
2	ミニオンズ フィーバー	UIP映画
3	翔んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～	東映ビデオ
4	マイ・エレメント	ウォルト・ディズニー・ジャパン
5	トイ・ストーリー4	ウォルト・ディズニー・ジャパン

■上映会

1	パウ・パトロール ザ・マイティ・ムービー	UIP映画
2	FLY！／フライ！	UIP映画
3	パウ・パトロール ザ・ムービー	UIP映画
4	ミニオンズ フィーバー	UIP映画
5	SING／シング	UIP映画

■図書館

1	ウオンカとチョコレート工場のはじまり	ワーナーブラザーズ
2	キングダム／運命の炎	ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
3	憧れを超えた侍たち 世界一への記録	ジェイ・スポーツ
4	ミッション：インポッシブル／デッドレコニング PART ONE	UIP映画
5	パウ・パトロール ザ・マイティ・ムービー	UIP映画
	ONE PIECE FILM RED	東映ビデオ

了

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎角川アニメ『オーバー』、完成披露と新情報続々

角川アニメーション配給『劇場版「オーバーロード」聖王国編』（9月20日公開）の完成披露上映会が18日、T.O.H.O.シネマズ六本木ヒルズで開催。満員となったスクリーン7に、声優キャストの日野聡、原由実、加藤将之、青山吉能、生天目仁美、瀬戸麻沙美が登壇した。今作を至高の劇場版だとする日野は、「作品内にはいろいろな形で、何かに心酔することで得られる強さ、脆さがキャラクターを通じて描かれています」と見所を語った。

同日、新情報を多数解禁。入場者特典は1週目と2週目にそれぞれ、原作・丸山くがね書き下ろし小説「カツツエ平野の幽霊船」（上下巻、各100ページ）を配布する。劇場物販はパンフレットをはじめ多彩な品揃え。展覧会「オーバーロード展」は東京ソラマチ（9月14〜29日）に続き、大阪・あべのハルカス近鉄本店（10月2〜14日）で開催決定。また、AT-XでTVアニメ「オーバーロード」I〜IVの1挙再放送が決まった。

◎109新宿「ABEMAアニメ祭」参画、多数上映

東急レクリエーションは、東急歌舞伎町タワー周辺で開催される「ABEMAアニメ祭」に参画し、109シネマズプレミアアム新宿で9月13〜26日に、スペシャルトークショー付きアニメ上映会と劇場版アニメ作品期間限定上映を行う。同アニメ祭は「もつとアニメを好きになる」をコンセプトに、ABEMAのオリジナル番組や人気アニメ、アーティストとの様々なコラボ企画を実施（9月14〜23日）。同館での上映作品は、次のとおり。

《スペシャルトークショー付きアニメ上映会》▼君は冥土様。▼小市民シリーズ▼最凶の支援職【話術士】である俺は世界最強クランを従える▼しかのこのこのここしたんたん▼モブから始まる探索英雄譚▼ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうかV▼新米オッサン冒険者、最強パーティに死ぬほど鍛えられて無敵になる。▼劇場総集編ぼっち・ぎ・ろっく！Re:Re:Re:Re:ゼロから始める異世界生活▼魔王様リトライ！R

《劇場版アニメ作品期間限定上映》▼傷物語ーこよみヴァンプー▼劇場総集編ぼっち・ぎ・ろっく！Re:Re:Re:Re:劇場総集編ぼっち・ぎ・ろっく！Re:Re:Re:Re:劇場総集編ぼっち・ぎ・ろっく！Re:Re:Re:Re:劇場ブルーロック-EPIISODE 風-

◎L.V.J、奥田民生30周年ライブ10月26・27日中継

ライブ・ビューイング・ジャパンは、奥田民生ソロ30周年記念ライブ「60」を10月26日（土）と27日（日）に両国国技館から全国50館に生中継する。1日目は奥田がギターと歌で届け、2日目は30年前当時のバンド「GOZ」メンバーが再集結する。両日とも17時開演。料金は4800円。

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎WB『ブルーピリオド』イベで新田真剣佑の出演明らか

WB配給『ブルーピリオド』の公開記念舞台挨拶が20日に新宿ピカデリーで開催され、萩原健太郎監督、出演の眞栄田郷敦、高橋文哉、板垣李光人、桜田ひよりが登壇した。

フィルマークスの初日満足度1位を獲得するなど好評を得ている同作について、主人公・八虎を演じた眞栄田は「すごい良い評判をたくさん頂いています。普段連絡来ない人からも泣いたとか感動したと感想をもらって嬉しいです」と話し、萩原監督も「けっこうすすり泣く声とか聴こえました」と肌で感じた実際の劇場のリアクションを振り返った。

イベントでは、眞栄田の兄である新田真剣佑がサプライズ出演していることも発表された。渋谷でのシーン冒頭5分に登場しており、監督は「（新田が）現場に来るということになって、僕から出演をお願いした」と経緯を明かしつつ、「八虎（眞栄田）の脇を通り過ぎるシーンだったので、現場で気づいていたか聞きたくて」と質問すると、眞栄田は「あの日、やたら現場全体に緊張感があったんですよ。で、観察していたら気付いてしまった（笑）」とすでに現場で気づいていたことを明かした。

◎パルコ『モンキーマン』イベにケンコバ、しずちゃん

パルコ配給、ユニバーサル映画『モンキーマン』の公開直前イベントが20日、ベルサール六本木で開催され、格闘技マニアのケンドーコバヤシと、ボクサーとしても活躍するしずちゃん（南海キャンディーズ）が登壇した。

同作は、復讐の機会を窺いながら、闇のファイトクラブで“殴られ屋”として殴られ続ける日々を繰り返していた主人公の、凶暴な復讐劇を描く作品。ケンドーコバヤシは「復讐モノはみんな大好きですから。もちろん興奮しました」と絶賛し、しずちゃんは「中学生の時に同級生の男の子に傷つくような発言をされたんですが、その時に『こいつら見返したる！』という気持ちになったのを思い出しました。どん底を経験したり傷ついたことがある人は共感できる主人公」と見どころを語った。

監督・主演はデヴ・パテル、プロデュースはジョーダン・ピール。8月23日（金）公開。

◎東宝『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』、伊原六花の出演発表

東宝配給、映画『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』は、新キャスト第三弾として伊原六花の出演が発表された。ファッション雑誌の編集者役で、大橋和也（なにわ男子）演じる小太郎の後輩を演じる。公開は12月13日（金）。

▽訂正 11月21日付記事「東宝『SAND LAND』、1周年で30日から再上映」は、現在の配給会社はバンダイナムコフィルムワークスのため、訂正いたします。

了

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎『エターナルメモリー』堀潤氏登壇の試写会が大盛況

シンカ配給『エターナルメモリー』のトークショー付き一般試写会が19日にシネスイッチ銀座で開催され、ジャーナリストの堀潤氏が出席した。今年のアカデミー賞長編ドキュメンタリー賞にノミネートされた作品。アルツハイマーを患った夫アウグストと、困難に直面しながらも彼との生活を慈しみ彼を支える妻パウリナの、ささやかな幸せにあふれる丁寧な暮らしと、ふたりの愛と癒しに満ちた日々を記録した感動のドキュメンタリーであり、真実のラブストーリー。

上映終了後のトークショーで堀氏は、自身と同じジャーナリストだったアウグストについて「取材者にとってこれまで積み上げた事実が消えてしまふことはどんな辛いことだろうか。ジャーナリストの仕事は単に目の前の事象を解き明かすだけでなく、歴史的な経過、事実や記録にもとづいて今を分析し将来に向けた一手を伝えていくもの。権力と闘い、メディアの中で何がおきていたのかを考え続けていた人にとって、記憶が消えていくことがどれだけ恐怖だったかと思う。同じ仕事をしている者として身につまされた」と想いを馳せつつ、「推計では2025年には高齢者の約5人に1人が認知症になると言われている。決して人ごとではない。映画で描かれていくような温かいケアではなくて、日本の格差社会の中で認知症患者や家族を隅っこに追いやってしまふような現状がある。まさに今、皆が観て知るべき作品」と強調した。

上映後に行われたアンケートでは「夫婦の愛が素晴らしかった!」、「愛に満ち溢れていて温かなドキュメンタリー」など絶賛の声があふれ、満足度は100%だった(20日13時集計時点)。23日(金)から新宿武蔵野館、シネスイッチ銀座、YEBISU GARDEN CINEMA ほか全国公開。

◎東京コミコン、S・スタンとJ・モモアの参加が決定

幕張メッセで12月6〜8日に開催される「東京コミックコンベンション2024」に、俳優のセバスチャン・スタン、ジェイソン・モモアが来日することが決まった。セバスチャン・スタンは2019年の東京コミコンに参加予定だったものの、撮影のためキャンセルとなり、5年越しの来日となる。また、ジェイソン・モモアは今年5月に行われた大阪コミコン2024で日本のコミコンに初参加し、今回の東京開催で再び来日する。

■夏季休業（および夏季休刊）のお知らせ

文化通信社は、8月（7月末）は次のスケジュールで夏季休業および休刊いたします。

▽休業Ⅱ毎週金曜日（7月26日、8月2、9、16、23、30日）と、8月15日（木）。

▽休刊Ⅱ毎週土曜日（※月曜着号）付（7月27日、8月3、10、17、24、31日付）と、8月16日（金）付

了

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎ PFFアワード2024、オンライン試写で募集

自主映画のコンペティション「PFFアワード2024」のオンライン試写会が8月30日（金）～9月1日（日）の3日間、国内最大級のインディーズ映画配信サイト「DOKUSO映画館」で行われることが決まった。応募作692本から選ばれた、入選作品19本（20の監督）を映画祭会場よりも前に、期間内の好きな時間帯に視聴可能。会員登録不要。募集人数は各20名×8プログラム、計160名（抽選）。応募条件はXで感想をポストできる人。PFF公式noteの応募フォームより申し込むことができる。応募締切は28日（水）正午。

同コンペティションを上映する「第46回ぴあフィルムフェスティバル2024」は東京（国立映画アーカイブ）で9月7～21日、京都（京都文化博物館）で11月9～17日開催。いずれも月曜休館。予告編もこのほど解禁された。映画祭期間中にPFFアワード入選作品は、DOKUSO映画館、U・NEXTでも配信する。

◎ ENBU『とりつくしま』蓮舫氏らが絶賛コメント

ENBUゼミナール製作・配給、東かほり監督『とりつくしま』（9月6日公開）に各界著名人から絶賛コメントが続々届いている。寄稿者は、市井昌秀（映画監督）、伊藤さとり（映画・パースナリティ・映画評論家）、大塚敦（映画監督）、小川あん（俳優）、金子岳憲（俳優）、小林エリカ（作家・アーティスト）、佐藤尚之（コミュニティディレクター）、シブヤメグミ（『浮かぶ』二代目店主）、鈴木慶一（ミュージシャン/moonriders）、田川恵美子（俳優）、俵万智（歌人※既報）、辻凧子（俳優）、中島京子（小説家）、根矢涼香（俳優）、眞鍋卓嗣（劇団俳優座 演出家／舞台作品「とりつくしま」演出）、山内ケンジ（劇作家・映画監督）、山崎ナオコ（作家）、蓮舫の各氏。

「小さいころに、よく星を見上げながらこう思ってた。『自分が消えてしまつたら…お星さまになつて、大切なみんなを見守ってたい』って。でも『とりつくしま』だったら、もつともつと近くにいられる。人を想う、この世で一番温和で尊いお話」（小川あん）、「その絶妙な距離感。まるで、私たちが私たちを眺めているようだ。ふわりとした空気感でありながら、人生の辛辣さや人間のおかしみが混在していて、なんとも言えない気持ちになつた」（眞鍋卓嗣）、「舞台のような映画でした。モノになっても想いを残し続けたい、そんな声が聞こえる物語をありがとうございます。小泉今日子さん、素敵です」（蓮舫）。

公開直前記念イベントの実施も決定。9月2日（月）19時よりLOFT9 Shibuyaで、ミニライブ&短編・MV上映&トークイベントが行われる。当日の登壇者はライブにカモシタサラ（インナージャーニー）、トークゲストに東かほり監督、カモシタサラ、橋本紡、榎島想史、安宅陽子他各氏。当日は『とりつくしま』の主題歌「陽だまりの夢」MV（初公開）などが上映される。

了

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎テアトル日活『クラウド』9月10日にジャパンプレ

東京テアトル日活配給『Cloudクラウド』（9月27日公開）のジャパンプレミアが9月10日（火）18時15分よりTOTOシネマズ六本木ヒルズで行われることが決定。上映前には、出演の菅田将暉、古川琴音、奥平大兼、岡山天音、荒川良々、窪田正孝、監督の黒沢清が登壇する。

◎短編映画『息子と呼ぶ日まで』ロサで11月1日から

トランスジェンダー男性が差別と偏見のなかで葛藤する姿を通じて家族の絆を描いた短編映画『息子と呼ぶ日まで』（配給：BAMIRI／上映尺25分）が11月1日（金）より池袋シネマ・ロサで2週間限定上映される。同館で11月1日（金）～14日（木）の2週間限定で開催される「Diversity CINEMA WEEK」内での上映。同作の公開記念として企画され、ダイバーシティをテーマにした短編映画9作品を上映。『息子と呼ぶ日まで』は毎日上映される。『息子と呼ぶ日まで』は、カミングアウトをきっかけに田舎に住む父親と疎遠になった、不動産屋で働くトランスジェンダー男性、翔太の人生を映し出したヒューマンドラマ。監督は黒川鮎美。『手のひらのパズル』に続き、LGBTQをテーマにした2作品目。主演は、合田貴将が務めた。

◎国立映画、没後50年で田坂具隆監督の展示&上映

国立映画アーカイブは展覧会「没後50年 映画監督 田坂具隆」を9月7日（土）～11月24日（日）に開く。

1926年に『かぼちゃ騒動記』でデビューした田坂具隆監督（1902・1974）は、『真実一路』（1937年）、『路傍の石』（1938年）といった文芸作品でヒューマニズム溢れる作風を確立し、内田吐夢監督とともに日活多摩川撮影所の全盛期を築いた。また、『五人の斥候兵』（1938年）からは迫真性と人間味に満ちた戦争映画の作り手としても名を轟かせた。1945年8月、田坂監督は、広島で被ばくし、数年の闘病を余儀なくされるが、再起後は数々の撮影所で石原裕次郎、中村錦之助、佐久間良子らスターの育成に力を注ぎつつ、『女中ッ子』（1955年）、『陽のあたる坂道』（1958年）、『ちいさこべ』（1962年）、『五番町夕霧楼』（1963年）など幾多の名作を残した。

長らく再評価の機会に恵まれなかった田坂監督の没後半世紀を機に、同館は初の回顧展を行うとともに監督作の特集上映（10月8日（火）～20日（日）、11月5日（火）～24日（日））も開催することを決めた。

了

文化通信（速報） 6年8月22日（18283号） 第三種郵便物認可

◎川村元気氏の3年ぶり長篇小説「私の馬」 9月発売

国際的に活動する映画プロデューサー、映画監督であり、「世界から猫が消えたなら」「億男」「四月になれば彼女は」「百花」などのベストセラー作家でもある川村元気氏が3年ぶりに書き上げた長篇小説「私の馬」が、9月19日（木）に新潮社より刊行される。

実際に起きた横領事件に着想を得た同作は、造船工場で事務員として働く瀬戸口優子が運命的な出会いを果たした一頭の馬と通じ合い、のめり込み、転落していく様を描いたサスペンスフルな悲喜劇。ひとめ惚れした愛馬のため、1億円という巨額の横領に手を染めていく彼女の行き着く先は――。

川村元気氏は、「なぜ彼女はそれほどまでに馬にのめり込んだのか。どんなコミュニケーションがそこにあっただのか。彼女が「彼」に見ていたものは何なのか。馬との『言葉のない世界』にのめり込んでいく女性を、『言葉信じて』描いていった。これから私たちが、言葉やお金の手綱をどのように引いて生きていけばいいのか。思わずスマホを放り出したくなるような、かなしくもおかしい物語が、一気に走りだした」などとコメントしている。

◎テレ朝映像の『ありきたり〜』に内田慈、奥野瑛太ら

テレビ朝日映像初の長編オリジナル映画『ありきたりな言葉じゃなくて』の追加キャスト総勢28名が一挙解禁された。すでに発表されている主演・前原滉、ヒロイン・小西桜子に続き、内田慈、奥野瑛太、那須佐代子、小川菜摘、山下容莉枝、酒向芳、池田良、八木光太郎、沖田裕樹、敦士、鈴政ゲン、加藤菜津、佐々木史帆、高木ひとみ〇、谷山知宏、今泉マヤ、根岸拓哉、チャンス大城、土屋佑壺、浅野雅博、外波山文明、玉袋筋太郎らが出演している。

映像業界で起きたとある実話をもとにした、脚本家の青年と彼の前に現れた「彼女」の話。監督は渡邊崇。ラビットハウス配給のもと、12月20日（金）より全国公開される。

◎「パチンコ」シーズン2のスター・ヒューEPが講座

NPO法人映像産業振興機構（VIPO）は9月20日（金）10時より、Apple TV+の8月23日（金）からシーズン2が配信される「Pachinko パチンコ」のエグゼクティブ・プロデューサーで制作・脚本を手がけたスター・ヒュー氏を講師に迎え、オンラインセミナーを実施する。講座名は「ハリウッドフロントランナーの視点・世界で注目を集めるアジアの物語。その企画のコアとなる訴求力とは？」。VIPO会員3500円、一般4500円。定員100名。9月19日（木）正午まで参加申込を受け付けている。